

【薬学部 臨床薬剤学講座】

薬学部 6 回生 爲石 麻友香 さんと同 5 回生 石川 秀奈美さんが
共同筆頭著者の論文が *Journal of Clinical Medicine* 誌に掲載されました。

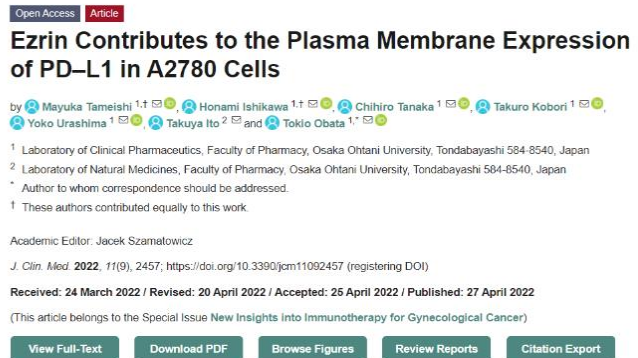
卵巣がん免疫療法の発展につながる可能性！

本学薬学部 6 回生 爲石 麻友香 さんと同 5 回生 石川 秀奈美さん（臨床薬剤学講座 所属）が共同筆頭著者として執筆した論文(英文)が、国際的学術雑誌 *Journal of Clinical Medicine* 誌（Impact Factor 4.242）に掲載されました。爲石 麻友香さんは、筆頭著者として 2 報目の論文掲載を達成しました。

本研究において 爲石 麻友香さんと石川 秀奈美さんは、ヒト卵巣がん由来細胞を用いた実験を行い、免疫チェックポイント分子 Programmed Death Ligand-1（PD-L1）の細胞表面での局在性が、細胞内の“足場”タンパク質 Ezrin によって調節されることを明らかにしました。

本研究成果により、PD-L1 の足場タンパク質 Ezrin を新たな治療標的とすることで、卵巣がんに対する新たながん免疫療法の開発につながる可能性を提唱しました。

なお、本研究は本学薬学部 臨床薬剤学講座、天然薬物学講座の共同研究によるものです。



【掲載論文の情報】

雑誌名等：

Journal of Clinical Medicine 2022, 11(9), 2457 <https://www.mdpi.com/2077-0383/11/9/2457>

タイトル：

Ezrin Contributes to the Plasma Membrane Expression of PD-L1 in A2780 Cells

著者：

Mayuka Tameishi^{1,†}, **Honami Ishikawa**^{1,†}, Chihiro Tanaka¹, Takuro Kobori¹, Yoko Urashima¹, Takuya Ito², Tokio Obata¹

¹ Laboratory of Clinical Pharmaceutics, Faculty of Pharmacy, Osaka Ohtani University, Tondabayashi, 584-8540, Japan

² Laboratory of Natural Medicines, Faculty of Pharmacy, Osaka Ohtani University, Tondabayashi, 584-8540, Japan

† These authors contributed equally to this work.

問い合わせ先（研究に関すること）：

薬学部 臨床薬剤学講座 准教授 小畑 友紀雄

E-mail : obatatoki@osaka-ohtani.ac.jp